

防犯インフォメーション

柏市役所職員を名乗る詐欺の電話に注意！

柏市内では、平成31年1月から令和元年6月末現在までの間に、電話での詐欺の被害が48件発生しており、被害額にして約7,100万円の被害が確認されています。

特に最近、柏市役所職員を名乗る電話が多く見られるので、今までの手口と多発している手口について紹介します。

～実際にあった騙り口の紹介～

1 今までの手口

柏市役所職員を名乗り、「医療費の過払い金があります。」「自宅に書類を送りましたが、〇〇さんは返事がなかったので電話しました。」「銀行はどちらの銀行をご利用ですか。」等と嘘を言い、利用する銀行名を答えたところ、更に銀行員を名乗る者から「〇〇銀行で申請する場合は受取番号が必要になります。」「受取番号を発行するには、ATMで手続きしなければなりません。」「それでは、〇〇にあるATMに行ってください。」「ATMに到着したら、サポートセンターに電話して下さい。」等とATMコーナーに誘導する。

ATMコーナーに到着した被害者が犯人に電話をかけ直すと、犯人は、「私の指示するとおりに操作して下さい。」等と言い、そのとおりに操作した結果、第三者の預金口座に送金してしまい、現金が騙し取られたもの。

2 最近の手口

柏市役所職員を名乗り、「医療費の過払い金があります。」「自宅に書類を送りましたが、〇〇さんは返事がなかったので電話しました。」「銀行はどちらの銀行をご利用ですか。」等と嘘を言い、更に銀行員を名乗る者から、「本店の者が柏の方に行っているので、その者にキャッシュカードを渡してもらえば手続きを代行します。」「盗難などされた時に利用停止ができる機能がついた新しいキャッシュカードに交換しましょう。」「カードを新しいものに取り替えますので、その者に渡して下さい。」等とそれぞれ嘘を言い、被害者宅に訪れた銀行員を名乗る犯人にキャッシュカードを渡したもの。